情報通信審議会 電気通信事業政策部会（第79回）議事録

1 日時 令和7年2月13日（木）17:00～17:17

2 場所 Web会議による開催

3 出席者

（1）委員（敬称略）

岡田 羊祐（部会長）、大橋 弘（部会長代理）、浅川 秀之、
荒牧 知子、石井 夏生利、江崎 浩、高橋 利枝、藤井 威生
（以上8名）

（2）専門委員（敬称略）

大谷 和子（以上1名）

（3）総務省

<総合通信基盤局>

・電気通信事業部

大村 真一（電気通信事業部長）、堀内 隆広（基盤整備促進課長）、
大堀 芳文（基盤整備促進課企画官）

（4）事務局

片山 寅真（情報流通行政局情報通信政策課総合通信管理室長）

4 議 題

（1）議決案件

① 「令和6年度第4四半期の電話のユニバーサルサービス交付金の算定
方法の在り方」について

【令和6年12月2日付け諮問第1240号】

② 「電気通信事業政策部会における委員会の設置」の一部改正について

開 会

○岡田部会長　ただいまから情報通信審議会第79回電気通信事業政策部会を開催いたします。本日もお忙しい中、皆様お集まりいただき、大変ありがとうございます。

本日はウェブ会議にて会議を開催しています。現時点で委員8名中7名が出席し、定足数を満たしております。

ウェブ会議となりますので、皆様、御発言の際はマイク及びカメラをオンにして、お名乗りいただいた後に御発言をお願いいたします。

また、本日の会議の傍聴につきましては、ウェブ会議での傍聴とさせていただいております。

それでは、お手元の議事次第に従いまして議事を進めてまいります。

本日の議題は、議決案件2件でございます。

(1) 議決案件

①「令和6年度第4四半期の電話のユニバーサルサービス交付金の算定方法の在り方」について

【令和6年12月2日付け諮問第1240号】

○岡田部会長　初めに、令和6年12月2日付け諮問第1240号「令和6年度第4四半期の電話のユニバーサルサービス交付金の算定方法の在り方」について審議いたします。

それでは、大谷主査から御説明をお願いいたします。

○大谷主査　ユニバーサルサービス政策委員会の主査を仰せつかっている大谷でございます。

諮問第1240号「令和6年度第4四半期の電話のユニバーサルサービス交付金の算定方法の在り方」につきまして、ユニバーサルサービス政策委員会における調査検討の結果を御報告させていただきます。

まず、経緯からでございます。本件は、昨年12月2日の第77回電気通信事業政策部会におきまして、ユニバーサルサービス政策委員会において調査検討を進めるよう求

められたものでございます。これを受けまして、同年12月20日に第38回、また、本年2月5日には第39回のユニバーサルサービス政策委員会を開催いたしまして、事業者へのヒアリングにも御協力いただき、調査検討を行いまして、その結果を報告書として、お手元にございます資料79-1-1のとおり、取りまとめております。

資料79-1-2を今表示していただいておりますが、その概要に沿いまして報告書の内容を御説明させていただきます。

概要の1ページ目を御覧ください。令和4年9月に、当審議会で「固定電話を巡る環境変化等を踏まえたユニバーサルサービス交付金制度等の在り方」に関する答申がまとめられまして、この答申の中で、令和6年12月までのIP網への移行期間中の電話のユニバーサルサービス交付金の算定に当たってのLRICモデルの適用方法などが提言されております。

一方で、IP網への移行後、具体的には令和7年1月以降の補填額の算定に係るLRICモデルの適用方法につきましては、実際のIP網への移行の進展などを考慮することなどとされておりました。

そこで、今般、令和6年度第4四半期の3か月間についての補填額の算定に係るLRICモデルの適用方法を3つの事項に分けまして検討・整理いたしました。

まず、検討事項1でございますが、第8次PSTN-LRICモデルによる算定、そしてもう一つが、第9次IP-LRICモデルによる算定、こちらの2つの加重平均についてでございます。

令和6年4月から12月までの9か月間、これらの比率は、接続料算定時と同様に、「23%」対「77%」としております。

令和6年度第4四半期につきましては、NTT東日本、そしてNTT西日本におきまして、予定どおり、今年の1月までにIP網への移行を完了したとのございますので、第9次IP-LRICを100%として補填額を算定することが適当とさせていただきます。

2ページを御覧ください。検討事項2でございます。第9次IP-LRICモデルの適用に際しまして、実際はメタル回線で設置されている加入者回線を光回線とみなすかについてでございます。

令和6年12月までのIP網への移行期間中の補填額は、接続料の算定に用いるモデルとの整合性を図るために、実際に設置されている回線種別に基づいて算定することと

しております。

令和6年度第4四半期についてでございますが、「IP網への移行後の音声接続料の在り方」につきまして、昨年6月の当審議会の答申で、令和10年3月までの接続料は、第9次IP-LRICモデルの適用に当たって、実際に設置されている回線種別に基づいて算定することが妥当と提言をいただいておりますので、これに鑑みまして、実際に設置されている回線種別に基づくことが妥当といたしました。

次に、検討事項3、モデル外補正の実施の有無（第9次IP-LRICモデルのアクセス網の設備配置ロジック）についてでございます。

第9次IP-LRICモデルについて、更なる検討を要することを踏まえまして、それまでの暫定的な措置として、令和6年12月までモデル外補正を行うこととしております。この点、令和6年度第4四半期につきましては、事業者から聴取させていただいた御意見は、暫定的な措置の継続は適当、又は継続はやむを得ないというものでございまして、その理由としましては、第9次IP-LRICモデルの設備配置ロジックを見直さないまま、この暫定的な措置のみを廃止することは不適當ではないかということ、そして、令和6年度の補填額の算定に当たりまして、第1四半期から第3四半期までと、第4四半期とで異なる算定方法を適用することによる算定作業の負担などを考慮すべきであるといったものでございました。

これらの御意見を踏まえまして、令和6年度第4四半期につきましても、この暫定的な措置を引き続き適用させることが妥当ではないかといたしました。

以上がこの報告書の3つの検討事項についての対応方針でございます。

そして最後に、「今後に向けて」と書かせていただいております。今般のユニバーサルサービス政策委員会での調査検討の過程におきましては、諮問事項だけではなく、令和7年度以降の算定方法の在り方につきましても御意見が出ております。その際、制度の運用コストも重要な観点であるということから、今後の制度の設計に当たりましては、作業負荷の点で、事業者にも、また、行政機関にも配慮されるように検討を進めるべきとの御意見がございました。

そこで、今回の報告書の最後の部分におきましては、総務省に対し、令和7年度以降の電話のユニバーサルサービス交付金の算定方法の在り方について検討を進めるに当たっては、丁寧な議論を行うよう努めるべきと指摘させていただきまして、その結びとさせていただきます次第でございます。

以上、簡単ではございますが、委員会の御報告とさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

○岡田部会長　大谷主査、大変丁寧に御説明をいただきまして、ありがとうございます。また、部会における意見なども加えて御報告をいただきました。報告書の最後にその点が記されており、また、概要版でも、「今後に向けて」ということで、今後の課題について言及をいただいたということでございます。

それでは、ただいまの御説明につきまして、皆様から御意見、御質問をいただきたいと思ひます。チャット機能でお申し出をいただければと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

特に意見はございませんでしょうか。

それでは、特に御意見はないようですので、定足数も満たしておりますので、ただいまの御説明を了承し、資料79-1-1「令和6年度第4四半期の電話のユニバーサルサービス交付金の算定方法の在り方」報告書を当部会の答申（案）とし、答申（案）について広く国民の皆様から御意見を募集することとしたいと思ひますが、いかがででしょうか。御異議がある場合はチャット機能でお申し出ください。

（異議の申出なし）

○岡田部会長　よろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、この案につきまして意見募集することとして、意見募集の期間や手続などについては、事務局に御一任したいと思ひます。

②「電気通信事業政策部会における委員会の設置」の一部改正について

○岡田部会長　それでは続きまして、「電気通信事業政策部会における委員会の設置」の一部改正について審議をいたします。

それでは、事務局より御説明をお願ひいたします。

○片山総合通信管理室長　それでは、事務局より説明いたします。資料79-2を御覧ください。本件は、資料2ページ目の新旧対照表にありますとおり、電気通信事業政策部会における委員会の設置で規定された通信政策特別委員会を廃止するものです。

通信政策特別委員会については、令和5年8月28日付け諮問第28号「市場環境の変化に対応した通信政策の在り方」について調査しておりましたが、本年2月3日に開

催されました第52回情報通信審議会総会において最終答申が出されたことから、その役割を終えたものとして、当該委員会を廃止するため、電気通信事業政策部会における委員会の設置の一部を改正するものです。御審議のほどよろしくお願いいたします。

○岡田部会長　ありがとうございました。ただいまの御説明について、御意見、御質問がございましたら、チャット機能にてお申し出ください。

よろしいでしょうか。特に御意見がないようですので、現在、定足数も満たしておりますので、それでは事務局からの御提案のとおり、電気通信事業政策部会における委員会の設置の一部を改正し、通信政策特別委員会を廃止することとしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(異議の申出なし)

○岡田部会長　ありがとうございます。それでは、そのように決定したいと存じます。

閉　　会

○岡田部会長　以上で本日の議題は終了いたしました。何か委員の皆様から御意見などございますでしょうか。

事務局から何かございますでしょうか。

○片山総合通信管理室長　本日も御審議ありがとうございます。事務局からは特にございません。

○岡田部会長　ありがとうございます。

それでは、以上をもちまして本日の会議を終了いたします。なお、次回の日程につきましては、開催日が決まり次第、また事務局より御連絡を差し上げます。

それでは、以上で閉会といたします。お忙しい中、御参集いただき、大変ありがとうございました。